

日本共産党
議員団

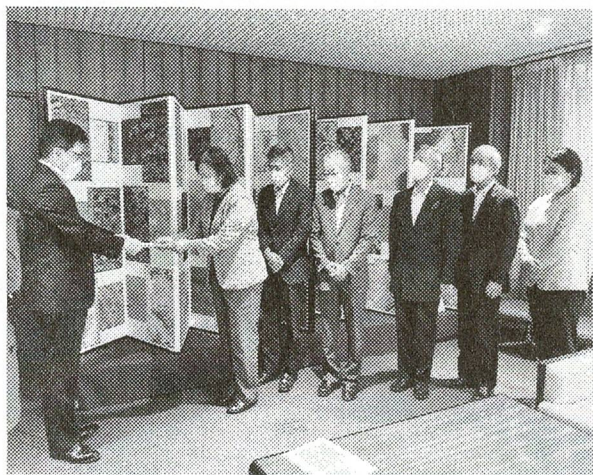
憲法違反の「国葬」はやめよ！

～弔意の強制は許さない～

民報

おうしゅう

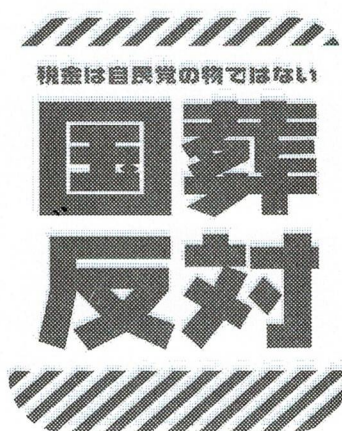
読者版

発行
赤旗奥州出張所
水沢字久田 62
Tel 24-2021
Fax 24-2049

9月5日、奥州市委員会・議員団は、奥州市長に対して、法的根拠がなく、国民多数が反対している安倍元首相の「国葬」の中止を求める申し入れを行いました。

千田美津子県議と5人の市議員は、倉成市長に対して、安倍元首相の「国葬」に反対する次の内容で申し入れを行いました。

- ① 憲法の精神に反し、法的根拠のない、国民多数が反対している安倍「国葬」の中止を求めること。
- ② 半旗の掲揚や弔意の表明も要請も行わないこと。



議員団は、「個人の葬儀費用を膨大な税金で執行することが法の下での平等、思想や良心信教の自由、財政民主主義を定めた憲法に違反する」と主張、教育委員会として半旗の掲揚を含め、弔意の表明や要請を行わないように求めました。

それに対し市長は、「国からの通知が来ていないので、これ以上のことはお話しできない。」と、明言を避けました。

一般質問

子どもたちの人権、多様性に配慮した「校則」へ



佐藤美雪 議員

佐藤美雪議員は、全国的に問題となっているいわゆる「ブラック校則」が市内中学校で存在しないか、子どもや大人、地域でみんなが望む「校則」かどうかを見直していくことが必要ではないか、と教育長に質しました。

特にスラックスとスカートの選択できるなどの「ジェンダーフリーの制服採用」について、「子どもたちの意見を聞き、積極的に取り組んでいくべき」と主張しました。

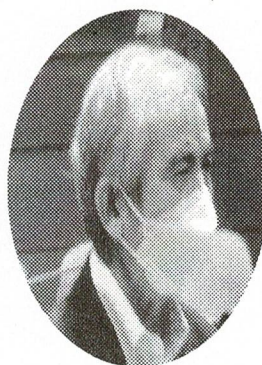
今冬から、1校で「選択できる制服」を導入

教育委員会は、「1校で今冬から女子のスラックスの選択制が導入される。他の学校にも広がっていくようにしていきたい。」と答弁しました。

※このほか、「奥州市子どもの権利に関する条例について」質問しました。

地球温暖化対策の具体的な計画策定を
…瀬川議員

瀬川貞清議員は、「気候危機対策」について取り上げ、異常な高温と水害の発生など深刻な被害が出ている中で、県内の市町村で策定が進んでいる「地球温暖化対策推進計画」を本市でも策定するべきではないか、と質問しました。



瀬川貞清議員

宣言するからには根拠を持った計画にしたい

これに対し、市長は「総論では同じ方向を考えていると理解している。宣言するからには、しっかりとした根拠を持った計画にしたい」と答えました。

国保税と協会けんぽの負担の違いは？

また、瀬川貞清議員は、高すぎる国民健康保険税の引き下げをめざす諸課題を取り上げました。とくに、奥州市の国保税と中小企業の労働者が加入する協会けんぽの保険料を示すように求めました。

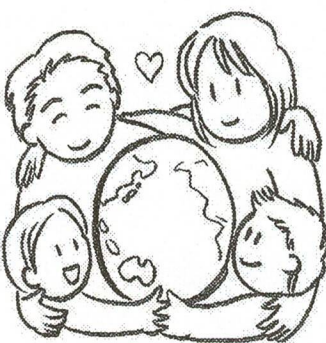
奥州市の国保税は協会けんぽの

1.7倍

これに対し、担当者は、「標準モデル（夫婦2人、子ども2人の4人家族で、世帯収入420万円）で試算した場合、国保税は40万5100円、協会けんぽの本人負担分は23万5620円であり、単純比較すると国保税が協会けんぽの保険料の1.7倍になる」と答えました。

安倍元首相の「国葬」に反対する市民集会

- 9月16日(金) 午後6時
 - 奥州市役所正面玄関前
 - 集会後、水沢駅までデモ行進します。
- 主催：同実行委員会



国保税の構造的な矛盾解決めざす

瀬川議員は、「日本共産党奥州市議員団が、繰り返す国保税の引き下げ問題を取り上げるのは、同じ収入に対する負担のちがいが大きいこと、そして国保加入者が所得の低い世帯で構成されている。この構造的な矛盾を解決するために地方自治体としても取り組みの課題に挑戦する」と強調し、国保税の引き下げ、子どもの均等割の減免制度の創設等を求めました。